

サクランボ特報

No1

平成 28 年 3 月 11 日

J A 中野市営農センター

J A 中野市サクランボ部会

冬の気温が平年より高く、また地温が平年より高く推移しております。
現状、他品目の生育が平年に比べ早く推移しており、サクランボの発芽も昨年より3～5日早いと予想されます。また、今後の気象状況によって、変動しますので園の生育状況をよく確認して適期作業と防除に努めましょう。

(平岡)

佐藤錦	平年	H28 (予想)	H27	H26	H25	H24	H23
発芽日	4/5	3/30	4/2	4/5	4/2	4/10	4/12

＊発芽前の防除

◎他の園地や隣接するハウスのビニールにかからないようにする。

散布時期：発芽前（3月中下旬）

散布薬剤 水 90ℓ
展着剤 10mℓ
石灰硫黄合剤 10ℓ

散布日	月	日
散布量	ℓ	

対象病虫害：(胴枯病)、カイガラムシ類

散布量：10a当り 300ℓ

＊カイガラムシ類対策 【3月中下旬までに】

スプレーオイル30倍（発芽前）を単用散布する。

＊胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な患部は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。

＊コスカシバの発生が多い園地は、3月中下旬までにラビキラー乳剤200倍（発芽前、1回）を地際部に散布する。（合剤とは混用しない）